

院内トリアージの実施基準

当院において、来院された患者さまの症状や重症度を事前に評価し、緊急性の高い適切な診療や治療を受けられるように、下記の要領で院内トリアージを実施致します。

算定対象時間は、平日18時以降、土曜12時以降、日曜日終日と致します。

院内トリアージの流れ

- 1) 来院後、受付時に症状や受診理由を確認します。
- 2) 看護師や医師が患者さまのバイタル等、全身状態の確認を行います。
- 3) 下記のトリアージ分類表に基づいて緊急度を判定します。
トリアージは待ち時間に応じて再評価致します。

トリアージ分類表（JTASに準拠）

緊急度判定レベル	症状の特徴や具体例	再評価の目安
蘇生(レベル1)	生命が危ぶまれ、直ちに対応が必要な状態。 持続しているけいれん、高度な意識障害、ショック、重症外傷等	治療の継続
緊急(レベル2)	生命又は四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早期に初期対応が必要状態。中等度の呼吸障害（SpO ₂ <92%）や意識障害、重度の脱水症、激しい頭痛や腹痛等	15分毎
準緊急(レベル3)	比較的安定しているが、長時間待つことができない状態。 頓挫したけいれん（意識障害）、SpO ₂ 92-94%、変形のある四肢外傷、発熱（具合が悪そう）等	30分毎
低緊急(レベル4)	緊急性が低く、診察までに1時間～2時間程度待てる状態。 軽度の喘息（SpO ₂ >94%）、発熱（具合が良さそう）、縫合が必要な外傷（止血済み）等	60分毎
非緊急(レベル5)	緊急性や病態の増悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態。 包帯交換、縫合の必要のない傷、処方の継続希望等	120分毎

来院後の主な流れ

「来院」⇒「受付」⇒緊急度判定（院医トリアージ）⇒診察待機⇒
診察・処置等⇒帰宅・他病院への紹介・入院依頼。

※発熱等の症状で来院された場合は、院内トリアージの際に感染症の迅速検査を行わせていただくことがあります。

※院内トリアージの実施基準は、必要に応じて随時改定・更新します。

医療法人浄光会千葉みなと病院